

2008年度経済学部研究プロジェクト WEB公開用原稿提出について

WEB公開用原稿

最終報告会での議論等を参考に、指導教員と相談しながら、WEB公開用原稿を作成してください。CDに入れて提出していただくWEB公開用原稿は以下の2種類です。

1. 表紙のみの文書ファイル（リッチテキストファイルもしくはワード文書ファイル）

表紙作成上の注意

論文の目的、方法、結論を簡潔に400字程度にまとめた要旨を作成し、指定されたフォーマット（文字サイズは10.5ポイント程度で、フォントは明朝体等の標準的なフォントにしてください）で表紙に載せてください。必ずこの通りの書式で表紙を作成してください。表紙は、WEBで一般に公開される資料であるため、学籍番号やメールアドレス等の個人情報記載しないでください。また、表紙には、ページ番号を入れしないでください。なお、表紙の作成に際しては、フォントサイズや記載すべき項目が記載されている[リッチテキストファイル](#)か[ワード文書ファイル](#)を利用してください（表紙ページのフォーマットは自分で工夫して変更しないでください）。

要旨の書き方に関する注意

要旨は、結論の要約ではなく、論文の要約であることに留意してください。通常、要旨には、論文の目的、方法、結論を簡潔に400字程度でまとめます。なお、要旨は、一般公開されるので、用語法等については細心の注意を払って作成してください。また、提出前には、必ず、指導教員に確認してもらってください。

2. 論文のPDFファイル

論文のPDFファイルは、以下の要件を満たすように構成してください。なお、この論文は、塾内公開になりますし、外部から問い合わせがあった場合には印刷して提供されます。

表紙

上述の表紙作成上の注意に従い表紙ページを作成してください。

目次

目次を作成してください。目次には章や節のページを必ず記入してください。

本文

論文の本文を以下の点に留意して作成してください。

論文フォーマット（物理的条件）

特別な理由がない限り用紙サイズはA4でレイアウトしてください。用紙は縦置きにして横書きにしてください。標準的で読みやすいフォント（例えば、明朝体）およびサイズ（例えば、12ポイント程度）を選択してください。

論文フォーマット（内容面）

専門分野により異なる論文形式が望ましいことが予想されるため、当プロジェクトでは論文内容の形式については定めませんので、担当教員の指導を受けて作成してください。なお、論文の基本的な書き方については、次の文献等を参考にしてください。
河野 哲也：「レポート・論文の書き方入門 第3版」慶應義塾大学出版会（ISBN：978-4-7664-0969-7（4-7664-0969-8））

論文の量

文字数の規定はないが、1年の研究成果としての説得性を持つ分量である必要があります。一般的には、20,000~40,000字が目安ですが、研究分野によってその分量は大きく異なるので、指導教員と相談してください。

図表・写真の使用

公開に適さない図表、プライバシー保護、著作権に抵触する可能性がある図表は、極力論文に含めないよう注意してください。許諾手続き、用語法や参考・引用文献のチェック等は、個人の責任のもとで行い、指導教員のチェックを受けてください。論文は、ネット上に公開されるため、図表は必要最低限にし、サイズの大きな写真等はなるべく使用しないようにしてください。

論文の要件

論文とは次にあげる内容に注意して執筆する学術的文章である。

論文の中での議論の進め方が論理的であること
論旨・結論は明確であり、誰にでも理解できるようなものであること（論文が対象とする読者は、一般的には大学生以上の一般的な人々を指す）
文献や調査結果などの資料は、読者によって共有されなくてはならない
先行研究を踏まえた研究であることがわかるように書く
専門用語を使って、学術的分析を行うこと
引用した文献についてその出典を明記すること

提出期限と提出方法

上述の2つのファイルをCDに入れ、2月23日（月）から27日（金）の期間に三田学事センターに提出してください。なお、この期間に提出できない場合には、これよりも前に提出することが可能です。その場合には、コーディネーターにご相談ください。

[2008年度のページへ](#)

[研究プロジェクトのトップページへ](#)